

## 日常業務の中で注意すべき個人情報保護と、情報セキュリティの知識・スキルを 身近なケースにより、学習者一人ひとりが当事者意識を持って無理なく学習できる内容です。

個人情報の漏えい事件は後を絶ちません。また、守るべき情報は個人情報に限りません。情報漏えいの原因は、大きく「そんな大切な情報だとは思わなかった」という「意識の問題」と、「こんなことで漏えいしてしまうとは知らなかった」という「知識の問題」に分けることができます。これらの問題に、マネジメントシステムとして対応することはもちろんですが、社員一人ひとりが基本的な意識と知識を持つことで、情報セキュリティ感度の高い組織を作り出すことができます。



### ＜本コースのねらい＞

- お客さまや社会から信頼される企業や社員として、情報保護に対する感度を高めます。
- 日常業務の何気ない動作を振り返りながら、企業が持つ情報を取り扱う際のポイントを理解します。
- 情報セキュリティ対策について、個人としてできることを学びます。

### ＜カリキュラム＞

<b>第1章</b> 企業にとって「情報」とは	1-1 情報資産を脅かすもの～企業の持つ情報が危ない！ ※ 1-2 情報セキュリティの考え方
<b>第2章</b> 個人情報保護のポイント	2-1 個人情報とは？ 2-2 個人情報を取得するとき ※ 2-3 個人情報を管理・利用するとき ※ 2-4 個人情報保護法について知っておきたいこと ※
<b>第3章</b> ネットワークを使った情報管理・利用のポイント	3-1 パスワードをつけるとき・管理するとき 3-2 ネットワークを利用するとき 3-3 ウイルスの感染と発病 3-4 ウイルスのチェックと駆除
<b>第4章</b> さまざまな形の情報管理・利用のポイント	4-1 PC内のデータを使うとき 4-2 紙になったデータを使うとき 4-3 日常の言動、その他の注意事項

### ＜概要＞

<b>受講対象者</b>	● ビジネスパーソン全般
<b>監修</b>	● (1、2章) 草間孝男 草間孝男法律事務所 弁護士 ● (3、4章) 株式会社富士通ラーニングメディア
<b>仕様</b>	● 想定学習時間：3時間 ● 最短実行時間：44分 ● テスト数：2（全20問、固定出題）

※ 令和2年、3年の法改正にともない、改訂を行った項目です。  
改訂内容については次ページをご参照ください。